



校訓
「自主 自主 自省」

学校教育目標
自己の能力を伸ばし、心豊かに、たくましく生きる人を育てる
～ 自主・自立・自省の姿勢を身に付け、
青年期的人格形成を図る ～

歴史と伝統の継承
SHINKA
(深化・進化・伸化・真価)

目指す学校の姿
生徒にとって 「自主的・主体的に学習し、生きる力を育む」学校
保護者にとって 「信頼し、子どもの自立・社会参加を託せる」学校
地域社会にとって 「地域に関われ、説明責任を果たす」学校
教職員にとって 「専門性を発揮でき、やりがいのある」学校

目指す教職員の姿
生徒理解の基、自主性・主体性を尊重する教職員
生徒・保護者・同僚と傾聴と対話する教職員
専門性向上のため、学び続ける教職員

基本指導観
「率先垂範」
「共汗協働」
「師弟同行」
「凡事徹底」

- 重点課題
- ① 教育課程の再編
 - ② 人権を尊重する言動
 - ③ 自立活動の充実
 - ④ キャリア教育の充実
 - ⑤ 地域貢献

魅力ある学校・寄宿舍
となるために

育成を目指す資質・能力

- 学んだことを社会生活で生かせる力(知識及び技能)
- 課題解決や自己選択、自己決定ができる力(思考力、判断力、表現力等)
- 職業生活・家庭生活等で適応できる力(学びに向かう力、人間性等)

職業学科としての目標
就労継続 100% (卒後3年間)
希望の就労 100% (卒後3年めど)

何ができるようになるか(学校教育の基本)

- 社会自立
・働き続けるための勤労意欲、態度等
・良好な関係を築くためのコミュニケーション力
- 生活自立
・自立した生活のための知識、技能、習慣等
・生活を豊かにするための余暇活動

主語(主体)は生徒

何が身に付いたか(学校評価を通じた学習指導の改善)

- 個別の教育支援計画
- 個別の指導計画(通知表)
- 寄宿舍の生活
- 移行支援計画
- 学習評価(3観点評価)
- 年度末反省
- 教育課程の評価
- 学校評価(教職員、保護者、生徒アンケート)
- PTA、学校運営協議会

生徒の実態

- 発達障がいの診断 約70%
- 自閉症・情緒学級出身 約60%
- 通常学級出身 約6%
- 一般就労 約55%、福祉的就労 約45%
- 一般就労を希望する生徒が多い
- 自己理解・受容ができていない生徒が多い
- コミュニケーションを課題にしている生徒が多い
- 情緒の不安定さを課題にしている生徒が多い

目指す生徒の姿

- 自ら質問や相談をし、課題を改善・解決できる生徒(確かな学力)
- 自己を理解し、相手意識をもてる生徒(豊かな人間性)
- 体力の向上と心身ともに健康で、生活習慣を整えられる生徒(健康・体力)

生活する力
働き続ける力

何を学ぶか(教育課程の編成)

- 「体力づくり」「進路学習」「作業学習」
- カリキュラム・マネジメント
教科等横断的視点(教科等合わせた指導、教科別指導、総合的な探究の時間等)
- 自立活動の充実
- 特別の教科道徳の充実
- 学びの保障

生徒の発達をどのように支援するか

- 個別の教育プラン
一人一人に応じた指導、教育的ニーズ
- キャリア教育
良さ・可能性を伸ばす指導・支援、「つながる」「つなげる」

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- 主体的・対話的で深い学び
- 学びの地図
- 3年間で三種の作業学習を経験
- 年3回のバス停清掃実習(1学年)
- 年2回の職場実習(2学年)
- 年1回4週間の現場実習(3学年)
- 年2回の労働週間(全学年)
- 寄宿舍生活(寄宿舍生)

- SDGsの視点
- 2 フードロス(残食軽減)
 - 3 食育指導
 - 4 キャリア教育、学びの保障
 - 5 LGBTQ+, 敬称徹底
 - 7 節電・節約
 - 8 希望の職業・職種、就労継続
 - 15 木材(間伐材)の活用
 - 16 人権尊重、安心・安全

実施するために何が必要か(指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)

- 効率的・効果的な指導組織体制の構築並びに専門性の向上
- 保護者・関係機関、進路先との情報共有及び信頼関係のさらなる構築
- 北広島市及び西部地区、学校運営協議会等と一体となり、生徒の教育活動の充実・拡大

安心・安全な学校

- 人権尊重
敬称徹底、体罰・いじめの防止、相手意識
- 言語環境
挨拶、敬語、適切で丁寧な会話
- 個性尊重
実態把握、合意形成、合理的配慮、傾聴・対話、自主性・主体性
- 情緒の安定
自立活動、SCの活用
- 危機管理・環境整備
防犯・防災対策、健康安全指導、交通安全、情報管理、施設設備対策、整理・整頓・清潔(清掃)
- SDGsの視点
- 適正な財政処理、金銭管理

連携・信頼のある学校

- 保護者や関係機関との連携
共に成長を実感、説明責任、PTA活動の充実、専門機関・医療機関等と情報共有
- 組織的な業務推進
「かくれんぼう」の徹底、学舎の連携、参画意識・目的意識
- 進路指導(キャリア教育)の充実
自己(他者)の理解・受容、経験・体験の拡大、自己選択・決定、就労継続
- 生徒指導・生活指導
個に応じた指導、集団・個別指導、自己指導能力、発達支持的生徒指導、予防的生徒指導、食育指導の推進、
- ICT教育
活用、充実、機器・環境整備
- 教職員の規範意識
服務規律の遵守、適切な言動・服装

開かれた学校

- 地学協働
CS(学校運営協議会)の充実、北広島市(BP、地元産木材利用)、西部地区(バス停清掃、清掃活動、交通安全運動、行事参加、製品販売会、受注等)、NEXCO東日本(輪厚PA販売会、バス停清掃活動)
- 特別支援教育のセンター的役割
専任Co、PT派遣事業
- 情報発信
HP、各種たより、公開研修会
- 学校見学
- 交流及び共同学習
地域:西部小学校、西部中学校、北広島高校
近隣:文教大附属高校、とわの森三愛高校
- 学生ボランティア
部活指導

働きがいのある学校

- 北海道アクション・プラン
健康で豊かな生活、教育の質の向上、学校閉庁日(学校が設定する日)、定時退勤日、時間外勤務の縮減
- 専門性の向上
研修充実、新たな研修制度、授業・生活指導の評価・改善・構築(PDCA)
- 学校運営への参画
教員育成指標、校内人事の活性化、人材育成、業務の効率化・伝達化
- 人事評価シート(学校設定項目)
自分の強み(仕事観)、白樺の強み(教育観)
- 課題意識・問題意識・改善意識・解決意識